

從ヒ、三角形ノ某片ニ缺裂ガ出來テ、遂ニ發達擴大シテ一大腔トナリ一室ノ子房トナル。故ニコノ腔ノ形狀ニヨリ心皮數ヲ決定スルコトハ不安デアアルノミナラズ、子房ノ基部ノ横斷ニツキ全形即チ輪廓ヲ見ルト圓形デハアルガ、ヤ、左右相稱の傾向ガアル、更ニコノ腔ヲ中心ニシテ維管束ノ配置ヲ考トルト更ニ一層左右相稱的デアアル、更ニマタ花柱上部ノ横斷面ヲ見ルト、中央腔ハ直線的ナ場合モアリ其左右ニ各一束ノ維管束ガ配サレテ居ル。而シテ子房基部ニ見エル弧狀維管束ハ小束ニ分裂シ、其各束ノ内側ハソレゾレ内方ニ突出シテ半島狀ノ胎座ヲ起シ、其大小及ビ數ハ維管束ノ大小及ビ數ト一致スル。

以上ノ二ツヲ考ヘ方ノ内、余ハ G. BECK ノ 3 心皮説ニ反シ 2 心皮説モ成立ツノデアアルト思フ。終リニ余ハ成島峙ノモノ丈デ説ヲナスモノデ其液浸及ビ腊葉ハ科學博物館ニ藏サレテ居ル。

帶化植物其後ノ物色

松 村 義 敏

Y. MATSUMURA: Subsequent Hunting for the Fasciated Plants.

曩ニ帶化植物ニツイテ、本誌ニ記シタガ、¹⁾ 未完成ノママデアツタ。其後帶化植物小目録²⁾ヲ公ニシタガ、該目録ニ新出³⁾シテ、而モ未ダ詳細ナ報告ノナイモノガアリ、更ニ目録發表後ニ新ニ見出サレタモノモアリ、追々ト發表シテ最初ノ未完成ヲ充サントスルモノデアアル。先ヅ今回ハ著シイモノ四種ニツイテ記スコトニシタ。

帶化植物ニ關スル文獻ニ關シテハ、前記小目録ノ末尾ニ添ヘラレル筈デアツタガ、不幸ニシテ大部分カツトサレテアツタ。宜敷ク其後ノ小報「本邦植物畸形學文獻集 I⁴⁾」ニツイテ參照サレンコトヲ希望スル。

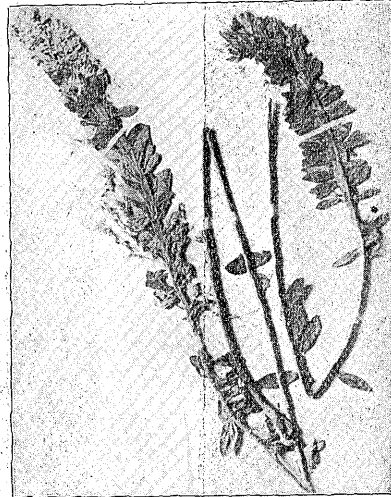
1. まさきノ莖ノ帶化 (第 1 圖)

コレハ莖ノ帶化品デ非常ニ見事ナモノデアアル。ソノーツノ枝ノ如キハ、片側的ナ成長ヲ遂ゲタ結果、渦卷キ狀ニ彎曲シテ、完全ナ輪ヲ形造シテ居ルノガ見

1) 植研, XII-12 (1936) p. 52. 2) 植研, XIV-4 (1938) p. 52. 3) 小目録中△印ヲ附シタルモノ 4) 植物趣味, VII-4 (1939) p. 144.



第1圖 まさきノ帶化莖



第2圖 こがんびノ帶化莖

ラレル。全長50 cm デ最モ幅ノ廣イ所デハ3.3 cm 厚サ 0.5 cm ニモナツテ居ル。本品ハ去ル昭和4年ノ頃當時横濱郵便局長デアツタ日下氏ノ官舎(市内中區北仲通)ノ生垣ニ生ジタモノデアツテ、横濱第二中學ニ保管サレテアツタノヲ神田重夫氏ノ好意ニヨツテ惠與サレタモノデアル。

2. こがんびノ莖ノ帶化(第2圖)。

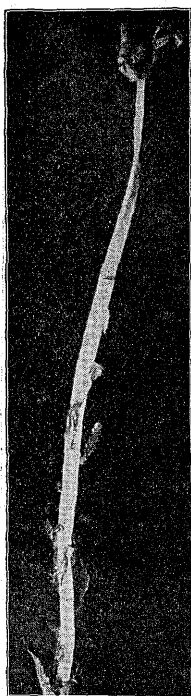
一昨々年ノ夏(Aug. 20, 1937), 奈良女高師、久米道民氏ト春日山ニ遊ビ、歸途若草山ヲ通過シタ際、同山二重目ト三重目トノ谷合ニ面シタ路傍ニ於テ、久米氏ノ目ニ留ツタノガコノ植物ノ帶化畸形デアル。莖ノ帶化ノ程度ノ様々ナモノガソノ附近ニ澤山ニ見ラレタ。

3. しすたぎくノ花軸ノ帶化(第3, 4圖)

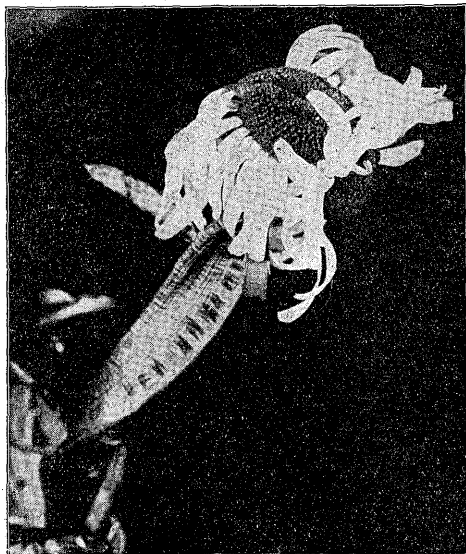
本品ハ花軸ガ帶化シタ一品デ、ソノタメニ第3圖ニ示ス如ク、頭狀花ガ扁平化シ、又第4圖ノ如ク帶化シタ花軸ガ捩レテ居ル例モアル。

4. だいこんノ花軸ノ帶化(第5圖)

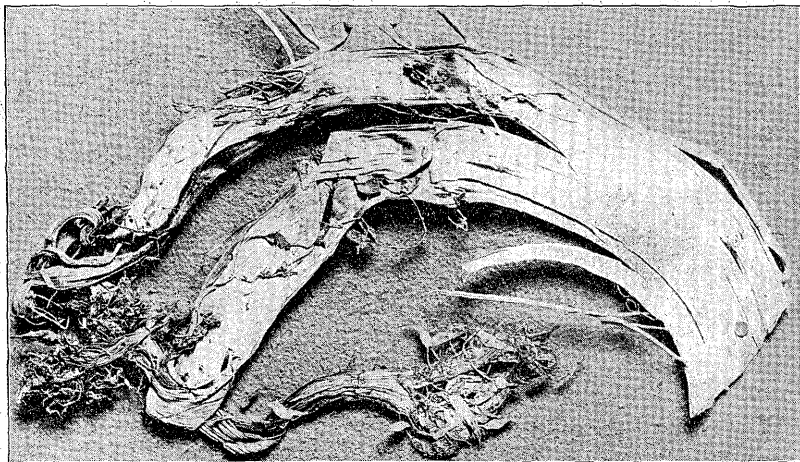
コレモ同ジク花軸帶化ノ一例デアルガ、ソノ帶化ノ度ガ餘リニ見事デアル。幅ノ廣イ所デハ7.3 cm モアル。寫眞ハ腊葉ニシタノヲ撮ツタノデ、幾分壓シツプサレタ貌デハアルガ、ソレニヨツテ扁平度ガー層増シタト言フコトハ殆ド



第3圖 シャすたぎくノ
帶化莖横濱第二中學神田氏ヨ
リ惠與サレタルモノ。



第4圖 シャすたぎくノ帶化莖



第5圖 だいこんノ花軸ノ帶化

認メラレナイ。コノ點誤解ナキ様一言附言スル。本品ハ奈良女高師、小清水卓二氏ノ好意ニヨリ惠與サレタモノデアル。終リニ以上ノ材料ヲ提供サレタル諸氏ニ感謝ノ意ヲ表シテ擱筆スル。